

鹿児島市立南方小学校

(様式4-2：平成29年度 モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）にかかわる学校支援制度
実施結果報告書）

実施結果報告書

1. 学習名称： 総合的な学習					
2. テーマ： 環境ニュースを作ろう					
3. 実施教科： 総合					
4. 関連単元： 社会					
5. 実施単元数： 28時間					
6. 学年	5年	7. クラス数	1学級	8. 生徒数	12人
9. 実施内容 ＜1学期＞ ①各自でテーマを決めて、今起きている環境問題について調べる。 ②テーマをもとにペアをつくり、自分たちができることはどんなことが調べる。 ＜2学期＞ ①電気自動車について調べ、体験学習をする。 ②環境未来館へ公共バスで出かけ、学習を深める。 ③学習発表会で発表する。					

10. 学習のながれ：

- ①本やインターネットで調べる。→発表原稿作り
- ②電気自動車の専門家に来てもらって体験学習をする。
※添付資料参照
- ③環境未来館へ公共バスで出かけ、調べ学習を深める。
→発表プレゼン作り
※添付資料参照
- ④学習発表会にてプレゼン発表をする。
※添付資料参照

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。

環境学習体験実施計画 (モビリティ・マネジメント教育含む)

5年担任 西元まゆみ

1 ねらい

- (1) 「総合的な学習」において自主研究を進めている「環境問題」について、専門的な機関や専門家等（人材）の活用を通して、学びを深める。
- (2) 環境を考えた行動として、公共のバスを利用する。（MM教育の補助金利用）
- (3) 研究のまとめとして、学習発表会で発表する。

2 日時

- ① 電気自動車関係専門家の出前授業 10月17日（火）
※県次世代自動車普及振興協会 川辺氏 来校予定
- ② 環境未来館での見学 10月24日（火）

3 行程（JRバス利用）10月24日

8：47 南方小前発
|
9：13 新照院バス停下車後
|
徒歩5分
|
9：30 環境未来館での学習
|
昼食（環境未来館の庭にて）
|
13：20 環境未来館発
|
13：38 新照院バス停発
|
14：05 南方小前バス停着

4 連絡先

かごしま環境未来館 TEL 806-6666

県次世代自動車普及振興協会 川辺基樹氏 TEL 090-9729-8929

JR九州バス TEL 247-2057

スタッフ
(寛大)

五秒前 五、四、三、二、一 スタート

キャスター
(逢希)

こんにちわ。環境ニュースの時間です。

本日、鹿児島市で最高気温五十度を記録しました。このところ、毎日最高気温が更新されています。このままいくと地球はどうなってしまうのでしょうか。

キャスター
(喜菜)

本日は環境問題にくわしい、専門家の方々に来ていただきました。それでは、さつそくお話をうかがいましょう。

各自の発表

※各自の発表

亜胡↓望羽↓大心↓理子↓凜↓寛大↓友梨亜

(逢希)

なるほど、そうすると、現在の地球は大変な危機に直面しているわけですね。

(喜菜)

まあ、こわい。どうしたら、いいのでしょうか。

(逢希)

その点についても、専門家に聞いてみましょう。

各自の発表

※各自の発表

さくら↓実花↓友梨亜↓紗耶

キャスター
(大心)

それでは、一人一人が気を付ければ解決できる問題なのではないでしょうか。

(亜胡)

国や県などでは、どんな対策を行っているのでしょうか。

(大心)

「再生可能エネルギー」という言葉を聞いたことがありますね、ちよつとそのことを聞いてみましょう。

喜菜→逢希

キャスター
(寛大)

ほほう。屋久島は環境の面で進んでいるんですね。では、電気自動車について、南方小学校の五年生が体験学習を行ったそうなので、ちょっとお話を聞いてみましょう。現場の南方小のみなさ～ん！

全員

は～い。こちら現場です。

(理子)

私たちは、プロをお呼びして、電気自動車について学びました。

(友梨亜)

電気自動車は、まだたくさんは出回っていませんが、ガソリンを使わない、または、ガソリンと電気と半分ずつ使えるので、二酸化炭素を減らすことができる車です。

(紗耶)

実際に乗ってみました。静かで、パワフルで、快適な乗り心地でした。

(さくら)

電気自動車に使われる電気も、水力や風力、植物などからできる電気を使うようにすると、もっと二酸化炭素を減らすことができます。

(実花)

わたしたちが、これまで、便利で豊かな生活をしてきた陰では、知らず知らずのうちに、地球を苦しめていました。これからは、一つでも、自分だけでも、今日から改善にとりくまなければ、地球は人類の住めないところになってしまいます。

(凜)

わたしは、これまで紙皿をよく使っていたのですが、この学習をしてから、紙皿をやめるようになりました。また、お弁当の時も、割り箸でなく、マイ箸を使うようになりました。

(望羽)

わたしは、まだ生活を見直すことができていません。み

なさんも私と一緒に「今日から」、「できることから」、
生活を見直していきましょう。

(喜菜)

最後に、この本をみなさんに紹介します。

「みみをポイポイ」

キャスター

(逢希)

これで本日の環境ニュースを終わります。みなさんごき
げんよう。さよなら・さよなら・さよなら。